

平成29年度 国立大学法人徳島大学契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成30年1月25日(木) 徳島大学日亜会館1階会議室	
委員(敬称略)	委員長 長地 孝夫 (公認会計士) 委員 田中 浩三 (弁護士) 委員 笹賀 一秀 (四国大学経理課長) 委員 牧野 孝彦 (徳島大学監事) 委員 立木 さとみ (徳島大学監事)	
審議対象期間	平成29年1月1日～平成29年10月31日	
審議対象案件	92件	(備考) ・意見、質問に対する回答部署 学術情報部図書情報課 常三島事務部会計課 蔵本事務部会計課 病院事務部経理調達課
一般競争契約	60件	
指名競争契約	0件	
随意契約	32件	
委員からの意見・質問及びそれらに対する回答	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特に問題はなかった。	

意見・質問	回答
<p>(審議に先立つ全般的な質問)</p> <p>落札率が100%となっているものが多く、理由の欄を見ると、「業者から参考見積書を徴収し、契約締結時に本見積書を徴収したところ同額であったため落札率が100%となった」と記載があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考見積書は1社だけから取っていますか。複数の業者から取っていますか。 ・落札率が100%になるということは、業者から提出された見積書と同額の契約金額ということですが、価格交渉はなかったのですか。 ・参考見積書は複数社取る場合と、保守であれば保守契約を予定している業者だけから取る場合との2パターンあるということですか。 ・1社しか参考見積書を取らない場合は、業者の提示したとおりになりますか、その見積書が適正な額か、公正な額かどのように判断していますか。 ・複数社見積書を取る場合というのは、例えば、ソフトウェアを買う場合と物品を買う場合で違いはありませんか。 ・見積書を取るのが1社の場合、競争性が働いていないのではないかとリスクを感じますが、競争性を確保するために大学側は業者からどのように情報を集めていますか。最初から特定の業者を指名して、その業者が提示した数字で落札していませんか。 ・大学の予算を効率的に、費用対効果を考えて執行する観点から、できるだけ複数の業者から見積書を取って競争性を確保すること、業者が提出してきた見積書を確認して、一つ一つが本当に妥当な価格かを客観的に判断していただくことが重要であると考えますが如何ですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・競争性がある場合は、複数の業者から見積書を取っています。 ・業者との価格交渉は行っておりません。 ・保守契約で競争に付すことができない場合は、特定の業者以外は対応できないため、複数の業者から見積書を取ることはありません。 ・市場調査を行い、適正な価格である旨判断しています。 ・複数社で取り扱えるものであれば、いずれの場合も複数社から見積書を取っています。 ・特定の業者に働きかけることはありません。一般競争入札では、入札情報を徳島大学ホームページや、文部科学省のホームページに公表し、広く周知しています。 ・随意契約を行うにしても市場調査を行い、業者からの見積書が妥当かどうか検証したうえで判断しています。

議題1. 競争性のない随意契約における随意契約理由

及び落札率の妥当性について(対象32件)

(29) 監査契約

・監査契約は入札ではないのですか。

・随意契約ですが、随意契約であっても公募を行った後、監査法人からのプレゼンや、点数評価を行ったなかで候補者を決めています。

・単年度契約ですか。

・単年度契約です。

(11) 在宅酸素療法用吸着型酸素濃縮装置外の賃貸借

(20) 在宅酸素療法用吸着型酸素濃縮装置外の賃貸借

(28) 在宅酸素療法用吸着型酸素濃縮装置外の賃貸借

・病院関係の在宅酸素療法の随意契約ですが、それぞれ業者が違う理由はありますか。1社で全て賄うことはできないのですか。

・患者の病状に応じて契約しています。契約先は調達担当係が決めるのではなく、担当医が患者に合わせて決定しています。

・競争性は働いていますか。

・業者は決まっていますが、市場調査を行い、適正な価格である旨判断しています。

(病院全般に対して)

・落札率100%が多いのが気になりますが、業者に対しての説明は個別に行っていますか、それとも複数社集めたところで行っていますか。

・例えば「(12) 輸液ポンプの保守」については、輸液ポンプを納入した業者が保守を行い、他の業者は対応できないため、説明は個別に行っています。

(様式等改善の提案)

・委員会資料の様式に、市場調査結果の詳細を記載できないのですか。

ご提案のとおり改善します。

・一番安いところが必ずしも一番良いというわけではなく、物に対しての知識や後のフォローなどを含めての価格とされますので、バックアップ体制等を含めて契約いただきたい。

ご提案のとおり努めて参ります。

・様式に単年度契約なのか複数年度契約なのかを記載いただくと分かりやすいのではないですか。

ご提案のとおり改善します。

議題2. 一般競争入札で一者応札だったもの及び落札率

の妥当性について(対象60件)

(6)使用済みレントゲンフィルム売払い

・この契約は収入原因契約ですが、予定価格の立て方を教えてください。

・市場価格調査を行い、予定価格を算出しています。

・落札率が178%ですが、例えば、銀の価格が予定価格を立てた時よりも入札を行った時の方が高かったなど、落札率が高くなった分析をしていますか。

・銀の価格の変動などが理由にあるのではないかと考えています。

(13)内視鏡手術支援システム

(16)手術室内視鏡コントロールシステム

(18)手術室環境支援システム可変LED照明

(20)集中制御対応万能手術台

・調達要求部署は手術部ですが、応募業者数1社、応札業者数1社、契約の相手方が全て同一業者です。手術部から契約先の指定がありますか。

・手術部からの指定はありません。一般競争入札の結果、契約先がたまたま同一業者となったものです。

・全体を見たときに手術部では、一者入札、同一業者が多いようですが理由はありますか。

・病院では、一者入札をできるだけ少なくするため、仕様策定委員会に執行部の1名が入って仕様を縛らないよう努めていますが、徳島の場合、公告してもなかなか他の業者の参加がない状況です。

(53)教育用電子計算機システム

・応募業者が7社、応札業者が1社となっていますが、仕様が厳しいのではないですか。

・今回の入札は電算機等の種類が多岐に渡っていたことから、「技術的に難しい部分がある」「企業戦略的に調達困難であった」という理由が応札の辞退理由として挙げられましたが、仕様策定委員会では可能な限り必要要件を緩和することとしており、仕様に反映されたものと考えています。結果的に1社となっている状況です。

(27)検査試薬(複数品目)

・応募業者数が5社、応札業者数も5社となっており、各検査試薬ごとに契約の相手方が分かれています。これは応募者数5社のうち一番適正な契約の相手方が決まって、契約しているのですか。

・単価契約ですので、1品1品安く入札した業者が契約の相手方となります。

・1品目について複数業者が同品目の契約をすることはなく、それぞれ別の業者がそれぞれの検査試薬の単価が一番安かったということですか。

・そのとおりです。1品1品安く入札した業者毎にまとめて契約しています。

・同じ業者が一番安く複数の商品について入札し、契約の相手方に同じ業者の名前が複数あってもおかしくないと思いますが、5品目が同じ業者だったということですか。

・複数の業者が一番安い金額をつけた場合はどうなりますか。

・応募業者5社は検査試薬全てを扱っていますか。

・全て違う業者が一番安く入札したことになっていますが、例えばA社が複数獲得しないのですか。

・5社が協議をしてこの商品はA社が、この商品はB社が、というように業者間で割振りを行っていないのですか。

・落札率は平均ですか。

(37) 複写機賃貸借・保守契約

・契約の相手方が6社になっていますが、メーカー分であれば各メーカー毎に保守契約することは理解できますが、メーカー以外のメンテナンス会社であれば1社が取りまとめることで安くできるのではないのですか。複数社に分かれている理由、メリットを教えてくださいませんか。

(病院全般に対して)

・全体60件のうち一者応札は27件、27件のうち病院が18件、18件のうち応募業者数1社、応札業者数1社が16件あります。仕様策定や機種選定で1社になることにより、その業者でしか入札できないのかもわかりませんが、応募業者数1社、応札業者数1社が多い理由は何ですか。

・1品1業者に決めるので、試薬ごとに契約するのではなく、業者ごとに契約しているため、このような書き方になっています。

・1品1業者なので、同じ値段で入札された場合は競り下げ方式または抽選で1社に絞っています。1つの商品を複数の業者が納品するというのではなく、最低の価格の業者と契約を結んでいます。

・競り下げ方式を行う入札については、競り下げを行います。通常の高額な物品の場合は、くじ引きで決めています。

・全ての業者が扱える商品がほとんどですが、1品について3社しか入札しない場合もあります。業者でも取扱うことができるメーカーが決まっていますので、5社が全ての商品に入札できるわけではありません。

・複数獲得しています。

・そういうことはありません。全て競争をしています。

・全試薬の予定価格と契約額から落札率を計算しています。

・全学部の複写機の更新にあたっては、機種特定は行わず各部門からの必要性能調査票の提出による、仕様の策定という形で行っています。契約の相手方が複数社に分かれている理由は、その仕様の条件により、対応できるメーカーが限られる場合もありますが、入札において54台を対象に、業者から仕様に合致した機種をそれぞれ提案してもらい、6社で1台ずつ競争を行い落札業者を決定しているためであり、1台ずつ最安値で調達できていることがそのメリットになっています。

・機種選定により入札を実施している場合は、四国の代理店が1社であるなどの理由によります。なお、仕様策定ではできるだけ多くの業者が応札ができるよう改善・工夫しています。

・複数の業者が入れるようにしなければ、大学予算の効率的な執行に繋がりませんので、改善の努力を続けていただけますか。

(様式改善の提案)

・一般競争の場合、機種選定委員会と仕様策定委員会で審査されていますが、どちらで審査しているのか記載できないですか。

・価格だけでなく、業者の品質や能力を考慮して決めたのであれば、その点も明記していただけますか。

・随意契約の理由、一者応札・応募の理由、入札不参加の理由及び落札率が100%になった理由が記載されていますが、昨年の様式と同じ内容しか書かれていません。この様式では契約内容によって件数が変わるだけの資料です。可能であれば年度始めに目標を定めて、それに対してどのような改善計画を立てたか、また、どのような問題が発生したかが分かるような、PDCAサイクルが回る様式になりませんか。1年の取組、結果、改善策をまとめることをお願いできませんか。

(調達の担当について)

・特定業者と行政機関の特定窓口が懇意になって、便宜を図ったことが以前問題になりましたが、窓口の調達担当は定期的に交替していますか。

その他

・委員会終了後、委員長から以下のとおり提案があった。

(1)議事概要について

・議事概要の原案ができ次第、各委員に送付しますので、意見を徴収した後、ホームページで公表することよろしいですか。

・委員長提案のとおり承認された。

(2)平成30年度の委員について

・委員の任期は2年となっていますので、外部の委員は今年度で終了となります。事務局側から全ての委員に対して再任の要望がありましたが如何でしょうか。再任していただけますか。

・委員長提案のとおり全委員再任で承認された。

・承知しました。なお、病院では今年から仕様策定委員会に執行部の教員1名が入り委員会で意見を出すなど、複数の業者が参加できるよう改善に取り組んでいます。

ご提案のとおり改善します。

ご提案のとおり改善します。

ご提案内容は、契約担当部署と相談した上で、対応可能か検討します。

・病院の経理調達課では、原則1年に1回係内で担当替えを行い、業者との癒着が起らない体制としています。